

第 11 回代かき濁水対策を進める WG 要旨

日 時： 平成 30 年 12 月 27 日（木）13：30～15：25

場 所： 高知県香美農林合同庁舎 1 F 大会議室

参加者数： 16 名

1 平成 30 年 11 月濁度調査結果の取りまとめについて

事務局より、資料 1 に基づき、平成 30 年度濁度調査の結果を報告した。

【主な意見】

○濁度差による分析について、濁度差が大きい年（最大値・最小値）を分析することで今後、すべき対策が見えてくるのではないかと。

⇒水入れのタイミングや異常値の判断が難しい。高川原やせせらぎは、流域の水稲面積が少ないので、調査時間にたまたま代かきをしている最中だと濁度が非常に高くなる。

○データを分析することも大切であるが、それだけではいけない。「人の力でできること＝短期濁水をなんとかする」を思い出して取り組む必要がある。長期濁水はすぐに解決できない。物部川の現状を流域の人は知らないのと、知ってもらい少しでもやれることをやる。人の意識を変えることの取組が大切。

⇒データの蓄積は、現状を把握しつつ、濁水軽減対策に取り組んでいる人にと取組の効果を見せることも目的としている。

【WG 検討結果】

○濁度調査は、現状把握と取組の成果を見せることを目的に平成 31 年作付け以降も実施する。

2 平成 31 年作付けに向けての普及啓発について

事務局より、資料 2 に基づき平成 31 年作付けに向けての普及啓発を説明し、参考資料を参考に「広報掲載文（案）」「広報チラシ（案）」「アンケート調査（案）」を協議した。

【広報掲載文（案）協議結果】

○香南市（2 月）、南国市（3 月）の広報に掲載することとなった。香美市には、事務局から依頼する。

○広報掲載文（案）に土壌の表記を追加する。（別紙「広報掲載文」参照）

【広報チラシ（案）協議結果】

○写真を小さくし、字を大きくするレイアウト変更を行う。

○魚等のイラストの削除、表記の変更（詳細 WG 概要参照）

○問合せ先に JA を追加。JA 南国市は、事務局で確認。

○ホームページでも啓発を行う。香美市には、事務局から依頼する。

○印刷経費によって選択できるように、カラー用・白黒用の 2 種類のデータを作成する。

○JA は、県域になるため詳細は不明。2 月頃の広報に折り込みで入れる場合は、2 月上旬に必要。

⇒修正点等を反映させた広報チラシを事務局で作成し、議事要旨と一緒に確認を受けることとなった。

【アンケート（案）協議結果】

- アンケートの内容の修正（詳細 WG 概要参照）。選択肢の設問は、事務局に一任。
 - 今回のアンケートは、多面的機能の会で配布する。香美市には、事務局から依頼する。
 - 物部川に関係ない農家でも、物部川の水を使っている方もいる。物部川を守るための参考になるので配布する。
 - 土地改良区には、事務局で協議を行う。
- ⇒修正点等を反映させたアンケートを事務局で作成し、議事要旨の確認と一緒に確認を受けることとなった。

3 その他

【環境農業推進課から情報提供】

- 9月県議会で田中徹議員から物部川の清流保全についての質問があった。その中で農業濁水の軽減に向けて技術的な対応ができないか提案があり、技術的な手法について、ものづくり地産地消外商センターと協議を行った。
- 4種類の手法（フィルター・脱水等の機械設置）の提案があったが、金銭的な負担や用地が必要になるなど導入が難しい。
- まずは、現在の啓発を中心とした取組をしっかりと実施し、取組が広がっても、なお、農業濁水の影響が残っている場合は、検討も選択肢に入ってくる。